

令和４年１１月１４日	
資 料 提 供	
担当課	政策審議課
担当者	寺村、松場
電話	073-441-2071

第３２回紀伊半島知事会議の結果概要について

令和４年１１月１３日に開催しました第３２回紀伊半島知事会議の概要については、以下のとおりでした。

開催日 令和４年１１月１３日（日）
開催場所 三重県立熊野古道センター（三重県尾鷲市）

出席者 三重県知事 一見 勝之
奈良県知事 荒井 正吾
和歌山県知事 仁坂 吉伸

概要

【「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録 20 周年に向けた観光振興について】

- 「紀伊山地の霊場と参詣道」が令和６年度に世界遺産登録 20 周年を迎えることから、三県の様々な観光資源を県境を越えてつなぐなど、周遊観光、滞在型観光を進める方策について意見交換を実施するとともに、連携した取組を一層強化することを目的として、
 - ・令和６年の世界遺産登録 20 周年という絶好の機会を捉えた「紀伊山地の霊場と参詣道」の新たなファンとリピーターの獲得
 - ・「熊野古道」などへの来訪者が、紀伊半島の他のスポットも周遊する仕掛けづくりの推進
 - ・紀伊半島の多くの観光資源を活かした長期滞在の推進
 を内容とした共同宣言を締結しました。

【公共事業における木材利用の推進】

- 紀伊半島の重要な資源である木材を活用し、三県にまたがる世界遺産周辺等の道路に、三県が連携して木製ガードレールを設置することをはじめ、公共事業における木材利用を進めていくことで合意しました。

【鉄道の維持・活性化】

- 地域住民の通勤・通学等、重要な役割を担うＪＲローカル線を含む地域鉄道の維持・活性化を図るため、今後も三県で連携して情報共有、意見交換を進めていくことで合意しました。

【大規模広域防災拠点の整備】

- 奈良県の広域防災拠点の整備等が進むことにより、大規模災害発生時における紀伊半島地域の防災体制の充実につながることから、この実現に向けて、引き続き三県で連携していくことを確認しました。